

製品名: MMP2 (13Q13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13987**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	74kDa

抗原情報

遺伝子名	MMP2
別名	72 kDa gelatinase; 72 kDa type IV collagenase; CLG4; CLG4A; collagenase type IV-A; Gelatinase A; Matrix metalloproteinase-2; matrix metalloproteinase-II; MMP2; MMP11;
遺伝子 ID	4313.0
SwissProt ID	P08253
免疫原	ヒト MMP2 の組み換えタンパク質

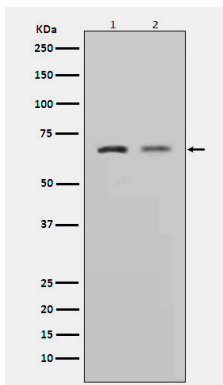
背景

MMP2 血管リモデリング、血管新生、組織修復、腫瘍浸潤、炎症、動脈硬化性プラーク破綻など、多様な機能に関するユビキチン性メタロプロテアーゼ。細胞外マトリックスタンパク質を分解するだけでなく、大血管内皮細胞 1 (BIG-ENDOTHELIAL 1) や β 型 CGRP などの非マトリックスタンパク質にも作用し、血管収縮を促進します。また、KISS タンパク質のグリシン-ロイシン結合を切断します。心筋細胞死の経路において役割を果たしていると考えられています。血管リモデリング、血管新生、組織修復、腫瘍浸潤、炎症、動脈硬化性プラーク破綻など、多様な機能に関するユビキチン性メタロプロテアーゼ。細胞外マトリックスタンパク質を分解するだけでなく、大血管内皮細胞 1 や β 型 CGRP などのいくつかの非マトリックスタンパク質にも作用して血管収縮を促進します。また、KISS を Gly-I-Leu 結合で切断します。心筋細胞死の経路で役割を果たしていると思われます。GSK3beta の活性を調節することにより、心筋の酸化ストレスに寄与します。in vitro で GSK3beta を切断します。MMP14 に関連して線維性血管組織の形成に関与しています。[アイソフォーム 2]: CHUK/IKKA のタンパク質分解を媒介し、炎症誘発性 NF- κ B、NFAT、および IRF 転写経路の活性化を伴うミトコンドリア核ストレスシグナル伝達を誘導することにより、一次自然免疫応答を開始します。

研究分野

心血管系

画像データ



(1)L6 細胞溶解物、(2)HeLa 細胞溶解物における MMP2 発現のウエスタンブロット解析。